

平成30年度	環境部の取り組み実績
	<部の構成> 環境総務課、減量業務室、穂谷川清掃工場、東部清掃工場、淀川衛生事業所、 環境保全課、環境指導課

1. 重点施策・事業

(1) ごみ減量の取り組みと地球温暖化対策の推進	
方向性	安全で安定的なごみ処理体制を維持するため、現在、整備が進められている新ごみ処理施設の稼働に向けて、ごみ処理基本計画に定めるごみの減量目標を達成できるよう、取り組みを進めるとともに、地球温暖化防止へのエネルギーの有効活用を含めた循環型社会形成の維持・発展に取り組みます。
取り組み	<p>ごみ処理基本計画に定めるごみの減量目標は、新ごみ処理施設における安全・安定的なごみ処理を行う条件の一つでもあることから、焼却ごみ減量に向けた平成30年度のリサイクルの取り組みとして、紙類等のごみの資源化を促進するため、自治会等による集団回収に加え、平成31年度から新たに古紙（新聞紙、段ボール、雑誌・雑がみ等）の行政分別回収を実施できるよう、取り組みを進めます。生ごみの発生抑制のため、「食べのこサンデー」運動のロゴマークを活用した情報発信を行います。</p> <p>また、平成30年度中に改定する地球温暖化対策実行計画に基づき、市民・市民団体・事業者・行政の各主体による再生可能エネルギー等の利用拡大や省エネルギー・省CO2活動など温暖化対策に関するポータルサイトの作成や市民参加型の啓発イベントなどの啓発活動などに取り組み、市域で排出される温室効果ガスの削減を図ります。</p> <p>《目標値》 ごみの焼却量：95,423 t 公共建築物における太陽光発電量：1,159kW 平成30年度当初予算：3,435千円</p>
実績	<p>再生資源集団回収報償金を交付することにより、ごみの減量及び資源の有効利用並びにごみ問題の意識向上を図り、ごみの減量を推進しました。</p> <p>令和元年6月から実施する古紙の行政分別回収についてリサイクル事業者と契約を締結し、実施に向けて協議を行いました。</p> <p>塵芥車に「食べのこサンデー」運動ロゴマークを活用したラッピングやシール貼付を施し、周知・啓発を実施しました。</p> <p>「臨時ごみ」及び「持ち込みごみ」に含まれる布団のリサイクルを開始しました。</p> <p>また、9月に枚方市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定を行いました。</p>

	その後改定計画の内容に基づき、温暖化対策に関するポータルサイトを作成し、市民参加型の啓発活動に取り組み、市域で排出される温室効果ガスの削減を図りました。
	<<実績値>> ごみの焼却量：96,040 t 公共建築物における太陽光発電量：1,159.3kW
	平成30年度決算：7,723千円（減量業務室：7,077千円 環境保全課：646千円 ※その他関連経費あり）
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(2) 可燃ごみ広域処理施設の整備	
方向性	枚方京田辺環境施設組合において、同組合による可燃ごみ広域処理施設の整備を進めます。
取り組み	枚方京田辺環境施設組合による環境影響評価のほか、可燃ごみ広域処理施設の円滑な整備に向け、引き続き、京田辺市と連携しながら、取り組みを進めます。
	平成30年度当初予算：125,825千円
実績	7月4日付けで京都府知事から環境影響評価方法書に対する意見が付され、その対応等について、京田辺市と情報共有を図りました。引き続き、枚方京田辺環境施設組合による可燃ごみ広域処理施設の円滑な整備に向け、取り組みを進めました。
	平成30年度決算：104,590千円
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(3) 空き家・空き地対策の推進	
方向性	管理不良な空き家・空き地の所有者等に対し、適切な指導等を行うとともに、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく枚方市空家等対策計画を策定し、本市における総合的な空家等対策に取り組みます。
取り組み	土地・建物の所有者等に対して、空き家・空き地の適正管理等の情報提供等を行うとともに、NPO 団体等と連携し、所有者等に対し、適正管理の支援を行うことで、管理不良な空き家・空き地の解消や発生未然防止に努めます。また、本市条例に基づき、管理不良な空き家・空き地の所有者等に対する指導等を行います。
	<<目標値>> 特定空家等に指定した空家等の改善率：100%
	平成30年度当初予算：3,811千円
実績	空き家・空き地の利活用や適正管理に関するチラシを固定資産税納税通知書に同封することで、情報提供を行いました。また、空家法・本市条例及び空家等対策計画に基づき、管理不良な空き家・空き地の所有者等に対し、指導等を実施しました。また、管理不良な空き家・空き地の解消に向けて、適正管理の支援として平成31

	年 3 月に「NPO 法人空家・空地管理センター」と連携協定を締結しました。なお、草木の繁茂等、衛生面で特定空家等に指定した空家等はありませんでした。
	平成 30 年度決算：1,314 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(4) 市民との協働による環境施策の推進	
方向性	第 6 回目となる市民参加型の枚方市自然環境調査を引き続き実施します。また、アダプトプログラムを推進させることで、市民の環境への関心と理解を深め、市域の環境保全に取り組みます。
取り組み	平成 29 年度に引き続き、市民参加による自然環境調査を実施し、その調査結果をもとに、環境教育・環境学習に活用するための啓発冊子を作成します。また、市民との協働によりアダプトプログラム実施団体による美化活動の支援を継続することで、環境保全に対する市民の理解と関心を深めます。 <<目標値>> 自然環境調査等における市民参加者数：250 人 平成 30 年度当初予算：8,652 千円
実績	市民参加による自然環境調査については、台風の影響による開催日の延期などもありましたが、市民調査 3 回、公開調査会 3 回のべ 115 人の参加により実施し、啓発冊子を作成しました。また、アダプトプログラムについては、新たに 3 団体が実施団体に加入されました。 <<実績値>> 自然環境調査等における市民参加者数：316 人 平成 30 年度決算：7,577 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議の経営改善を促進するため、中期経営プランに掲げる会員数の増加や事業内容の充実等の目標について進行管理を行います。

実績	<p>ひらかた環境ネットワーク会議と市が連携して、引き続き、市民の環境保全活動を促進しました。</p> <p>同団体の経営基盤の強化については、半期の中間報告を受けて、中期経営プランの進捗管理を行いました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
25. 大気汚染測定局の配置等の見直し	市が設置している大気汚染測定局の配置等の見直しに向け、大気環境や交通量などについて、各測定局間の変化の状況を把握します。
実績	大気環境や自動車交通量等について各測定局における状況変化の把握を行い、平成29年度に実施した大気環境測定結果を環境データ集として公表しました。また、第二京阪道路環境監視の在り方に関する検討会等においても、大気環境や自動車交通量等の状況変化の把握を行うとともに、関係機関と共有化を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
26. し尿処理業務の効率化	希釈放流センター（旧淀川衛生工場）は、平成29年12月18日から、し尿等を希釈して公共下水道へ放流し、処理業務の効率化を図っています。
実績	平成29年12月18日より希釈放流を開始しました。 （受入量：14,166.94 kℓ）（放流量：306,047 m ³ ）
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
27. ごみ焼却量の削減	手付かず食品等の発生抑制や紙類等のリサイクルなどの取り組みを充実・強化し、ごみの減量化に向けた取り組みを引き続き進めます。
実績	ごみの減量・資源化の取り組みとして、地域説明会の実施準備、持込みごみ・臨時ごみに含まれる布団のリサイクル実施、粗大ごみに含まれる掛け敷き布団の排出量調査、公共施設、協力店舗等における水銀使用廃製品の分別拠点回収開始、枚方市版ごみ分別アプリ「さんあーる」の配信開始のほか、令和元年6月より実施する紙類の行政分別回収に向けて、売り払い契約を締結しました。また、家庭系ごみ処理手数料の適正化については、事例調査等を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
28. 事業系ごみ処理手数料の適正化	廃棄物の処理及び清掃に関する法律による排出者責任の考え方に基づき、ごみ処理原価に一致したものとなるよう、事業系ごみ処理手数料の適正化に向けた検討を行います。
実績	平成 29 年度に検証した、手数料改定によるごみ減量の効果を踏まえ、近隣市と情報共有を図りながら、手数料の適正化に向けた検討を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-4. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（し尿等処理・施設管理業務）	希釈放流センター（旧淀川衛生工場）の職員配置については、費用対効果及び施設の維持管理も含めた観点で、引き続き検討を行います。
実績	長期的に安定した処理の実施を念頭において検討した結果、緊急時対応や設備の定期補修はもとより、今後は老朽化対策計画の策定及び受変電設備の更新に向けた取り組みが必要であることから、引き続き直営による運転管理を行うこととしました。なお、民間活力の活用についても、将来的な観点から継続して検討を行いました。 し尿収集車については、前倒しをして平成 29 年度に 1 台減車したところですが、令和元年度においてもさらに減車する方向で検討しました。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-5. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（ごみ収集業務）	市の責務として市民生活に著しい影響を与えないため、セーフティネットを確保しながら、段階的（平成29年度から平成31年度の間において、1台/年・計3台）な委託化を進めます。また、ごみ収集業務における市民サービスの水準を維持し、より効率的・効果的な運営手法を検討します。
実績	直営率50%体制を確保しながら平成29年度からの3年間で直営車両3台分の段階的な委託拡大（1台/年、計3台）を目指し、平成30年度は直営車両1台（累計2台目）を減車しました。 また、平成31年度における委託車両の増車（直営車両3台目の減車）に向け、受託業者や他課との調整等を行い、変更契約を締結し、直営から委託へ3台の移行を達成しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-6. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（ごみ処理・施設管理業務）	東部清掃工場は、今後も運転管理等の業務は民間に委託して、施設を運営します。一方、老朽化が進む穂谷川清掃工場については、長年施設の運転・維持管理業務を担ってきた職員の知識・経験・技術力が必要であることから、直営と委託の併用で運転管理を行います。また、平成35年度の第3プラント休止に向けて、効率的・効果的な人員体制の整備を行います。
実績	東部清掃工場は運営管理業務のうち運転管理業務を委託しており、その監理に豊富な知識、経験、技術を持った技能労務職員が携わることで、安定的かつ効率的な運転管理体制を維持しました。また、施設の維持管理について、委託になじまない部分を担うことで、より適切な管理体制の構築に努めました。 穂谷川清掃工場に関しては、引き続き、令和5年度の第3プラント休止に向けて、効率的・効果的な人員体制の整備を進め、第3プラントの運転管理業務（現在、一部委託）を令和2年度から全面委託することとしました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
51. 広域連携によるごみ処理施設の整備	枚方京田辺環境施設組合による可燃ごみ広域処理施設の整備について、京田辺市と連携を図りながら、平成35年度の稼働に向けた取り組みを進めます。
実績	組合が実施する環境影響評価等の事業について、構成市及び組合で組織する運営協議会で協議・調整するとともに、両市長・担当副市長・担当部長を委員とする「ごみ行政に係る政策連絡調整会議」を1月に開催するなど、両市で連携を図りました。なお、組合による環境影響評価の環境調査で絶滅危惧種のオオタカが発見されたため、調査期間を延長し、保全方法の検討が行われました。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
公用車の事故防止	無事故・無違反チャレンジコンテストへの参加や安全運転・安全作業マニュアル研修、安全誘導実地研修の実施、ラッピング車の導入など、公用車事故防止対策の充実を図ります。
実績	無事故・無違反チャレンジコンテストへの参加及び全職員対象とした安全運転研修の実施、公用車事故防止特別対策ガイドラインに基づいた設定テーマについてのセルフチェック、乗務員氏名記入シート（マグネットシート）の貼付など実施することにより職員の公用車事故防止意識向上を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
し尿収集業務の効率化	公共下水道整備によるし尿の搬入量の減少や収集経路見直しにより、し尿収集業務の効率化を図り、収集車両の減車を検討します。
実績	公共下水道整備により収集世帯が点在化していることから、効率的な収集業務体制が構築できるよう収集経路の大幅な見直しを行うなど、収集車両の減車に向けた取り組みを行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
知識・技術継承のための取り組み	より効率的・効果的な業務の体制づくりのため、新たな業務マニュアルの作成等に取り組むとともに、既存の業務マニュアルの最適化に努めます。
実績	「特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律」、いわゆる PRTR 法に基づく事務処理手順を取りまとめ、最適化に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆ 溶融飛灰に含まれる金属などを山元還元により資源として再利用するとともに、溶融スラグを土木建築資材等への活用を行うことで、焼却灰等の最終処分（大阪湾広域廃棄物埋立処分場）に係る経費の削減をめざします。

実績	溶融飛灰 542.90 t を山元還元により資源として有効利用し、最終処分量の削減に寄与しました。また適正な処理が行われていることを現地確認しました。なお、土木建築資材等として灰の溶融スラグ 8.39 t を再利用しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆ 穂谷川清掃工場、東部清掃工場及び大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」の売電収益として、平成 30 年度は、約 3 億円の収入を見込んでいます。

実績	<p>総発電量 7,116,330kWh の 40.1%にあたる 2,852,105kWh の電力を売却し、2,464 万 2,180 円の売電収益を得ました。（穂谷川清掃工場）</p> <p>総発電量 28,844,400kWh の 49.5%にあたる 14,274,294kWh の電力を売却、2 億 409 万 7,874 円の売電収入がありました。（東部清掃工場）</p> <p>大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」の総発電量 688,566kWh の全量を売却し、リース料を差し引いた売電収益は 869 万 1,446 円でした。（環境保全課）</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆市施設への太陽光発電設備をはじめとする再生可能エネルギーや未利用エネルギーのさらなる利用拡大に向け、国・府の補助金の動向を注視し、その活用をめざします。



穂谷川清掃工場



東部清掃工場

実績	平成31年4月に運用を開始した子ども発達支援センターに市の単独経費で太陽光発電設備 5kW を導入しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆定期的な部内会議・次長会議を通じて、組織目標の達成に向けた情報共有と進捗管理を行い、部内各課が連携・協力しながら、より効率的・効果的に事務を執行します。

実績	次長会議等を 21 回開催し、目標の達成に向けた情報共有と進捗管理を行うことにより、課題等に対して部内で連携協力しながら、効率的・効果的な事務執行を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆現場での業務経験の蓄積や個々の研修成果を部内・課内で共有化することで、組織全体の技術力や知識などのレベルアップをめざします。

実績	日常的な指導育成や市民・窓口対応以外に研修等を行うとともに、専門的な研修成果については課内で共有化することで組織として対応力の向上を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆OJT をはじめとする研修の充実を図り、職員一人ひとりのスキルの向上にも努めるとともに、お互いに学び合う風土を醸成することで、自律型職員の育成に努めます。

実績	職場内での研修等を実施するとともに、収集地域担当職員による収集現場でのごみの適正排出に係る市民啓発等を実施しながら市民対応力の向上に努めました。また一般廃棄物・産業廃棄物それぞれの担当が共同で現地指導等を行うなど、職員一人ひとりのスキル向上に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

5. 広報・情報発信

- ◆各地域のごみの収集日や分別の種別などが分かるスマートフォン向けのごみアプリを導入やごみ収集日カレンダー、「食べのこサンデー」運動のロゴマーク等を活用した啓発など、ごみの減量及び適正排出について広く市民に発信します。



ひらかた夢工房

実績	<p>枚方市仕様のごみ分別促進アプリ「さんあーる」を導入し、運用を開始しました。</p> <p>市内小学校 4 年生を対象に実施した環境学習でごみ収集日カレンダーを配布しました。</p> <p>店舗前・街頭所・公共施設でマイバッグ、マイボトル持参キャンペーンなどの啓発キャンペーンを実施しました。</p> <p>市内大学の学園祭等で「食べのこサンデー」運動ロゴマークを活用したハンドティッシュを配布し、食品ロス削減に向けた取り組みを進めました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆ごみ減量フェアや穂谷川清掃工場内のひらかた夢工房における市民ボランティアによる講習会や発表会等を開催するなど、ごみ減量やリサイクルに関する情報を広く市民に発信します。

実績	<p>ひらかた夢工房内の市民ボランティアによる講習会・教室・発表会などを開催しました。(リサイクル衣料教室、自転車整備点検教室、生ごみ堆肥化講習会、夏休み木工教室、ひらかた夢工房サテライト発表会、おとな木工教室等)</p> <p>「ひらかた夢工房」発表会をごみ減量フェアと共同開催しました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆「環境フェスタ」として、ごみ減量フェア、天の川クリーン&ウォーク及び氷室ふれあい里の駅等を一体的に開催するとともに、自然観察会やごみ減量又は環境に関する講演会、各種啓発キャンペーン、ひらかたクリーンリバーなど、市民等と連携したイベントを実施し、効果的な環境啓発活動を行います。

実績	<p>ごみ減量フェアにおいて環境ポスターコンクールの全作品を展示しました。</p> <p>天の川クリーン&ウォークを11月3日に、527人の参加のもと、開催しました。</p> <p>その他、自然観察会を4回開催し、144人の参加、自然環境を考える講演会を1月19日に開催し、57人の参加、また、クリーンリバー船橋川では372人、クリーンリバー穂谷川では47人の参加のもと、それぞれのイベントを市民等と連携して実施し、環境啓発活動を行いました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆市ホームページに地球温暖化対策に関するポータルサイトを作成し、再生可能エネルギーや COOL CHOICE（温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動）などに関する情報を広く市民に発信します。

実績	地球温暖化対策に関するポータルサイトを作成し、市民に向けて再生可能エネルギーや COOL CHOICE などに関する情報を広く発信しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆省エネルギー・省 CO₂ 型のライフスタイルを促進するため、NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議と連携・協力し、サプリ村野の環境情報コーナーにおいて、市の環境保全活動や省エネルギーや省 CO₂ に関する取り組みを効果的に PR します。

実績	環境情報コーナーにおいて、エコドライブシミュレータ体験や省エネナビの貸し出しなどを行い、市の環境保全活動や省エネルギーや省 CO ₂ に関する取り組みの PR を行いました。年間の利用回数及び利用者数は、研修室 136 回 1,408 人、環境情報コーナー 2,476 人でした。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆穂谷川清掃工場、東部清掃工場及び大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」における施設見学等を活用し、市の環境施策について積極的に情報発信を行います。



枚方ソラパ

実績	<p>小学生や一般市民等を対象に施設見学を実施しました。</p> <p>穂谷川清掃工場 施設見学者数：645 人 ※減量フェア 268 人含む</p> <p>東部清掃工場 施設見学者数：4,073 人</p> <p>枚方ソラパ 施設見学者数：161 人</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	